

令和5年度第3回中津川市公共交通会議 議事要旨

日 時 令和5年12月26日(木) 14:00～15:10
場 所 中津川市ひと・まちテラス101abc
出席者 委員24名(うち代理出席6名)、事務局3名、随行者3名

■開会

■会長あいさつ(渡邊副市長)

■報告

報告1 令和5年度自動運転実証実験について

・報告1について説明(次世代交通研究室)

【質疑・意見等】

・特になし

報告2 令和5年度自動運転実証実験について

・報告2について説明(事務局)

【質疑・意見等】

・特になし

■議題

議題1 中津川市地域公共交通計画の改定について

・議題1について説明(事務局)

【質疑・意見等】

○渡邊委員(公共交通事業者(鉄道))

・路線カルテとはどのようなものか。

⇒路線ごとに、路線の役割や意見・課題、収支等を記載し、前年と比較できるような資料を作成している。

○福本委員(学識経験者)

・中津川市の各路線について、岐阜県の公共交通計画ではどのような位置づけになっているのか。

⇒県の計画を確認する。

⇒幹線、準幹線、連絡系統について、それぞれ位置付け、役割が県計画に記載されている。

【採決】 承認

議題2 地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について

・議題2について説明(事務局)

【質疑・意見等】

○田中委員(公共交通事業者(交通))

・自己評価のABC評価について、どのような基準で評価しているのか。また、C評価が続けば路線を廃止する等の考えもあるのか。

⇒概ね80%以上ならA、50%以上ならB、50%未満ならCというように事務局で基準を設けて評価している。国の補助を受けるための要件がいくつかあり、2年連続でその要件を満たすことができないと、補助路線ではなくなってしまう。C評価の路線はそういった条件を満たさない

路線になるので、補助の条件を満たすためにも、利用されやすい路線への再編等検討していく。

○福本委員（学識経験者）

- ・国補助の要件があると言っていたが、そうであれば、この ABC 評価はその基準を満たしているかどうかで評価できるようにするといい。また、目標を達成してよかったということではなく、その路線の役割を達成しているかどうか、達成していない理由は何か、どう改善するか等を考察することが大切。計画の見直しを合わせて整理できるといい。
- ・観光が戻ってきているということなので、ここを伸ばすことが必要。観光客にお金を落とすことだけできるサービスを事業者と開発することが重要。
- ・通学の高校生を重視した施策が必要。苗木・福岡地区の学生がバスに乗れるように、福岡から向かう区間便等を設けて高校生が使いやすい路線をぜひ検討してもらいたい。
- ・高校生にバスを利用してもらおう場合、帰りのバスを待つ環境というのはとても大事。ゆっくり、きれいに、快適に待てる最低限の設備がある施設があるといい。
→本日の会議の会場であるひと・まちテラスも、バス停が近いので快適に待てる場所だと認識している。

【採決】 承認

■その他

（１）旅客運送 2024 年問題への対応

- ・その他（１）について説明（中部運輸局岐阜運輸支局）

【質疑・意見等】

○福本委員（学生記経験者）

- ・人材不足解決について根本的には、給料をあげることだと思うが、利用者が少ないことも原因の一つだと聞く。利用者が少ないと、運転手は仕事にやりがいを見いだせなくなり、やめてしまう。委託費等を増やすのも大切だが、利用が増えるように PR することも大切。また、2024 年問題をよく取り上げられるが、ネガティブなイメージが埋め込まれてしまい、就職希望者が減るということもある。しかし、仕事の安定性については魅力のある仕事だと思うので、そこをしっかりと就職希望者に PR することが必要。
- ・三重県桑名市が、消防職員の再就職先に三重交通の仕事を斡旋する契約を交わした。職員は運転も慣れており、地域も熟知しているため、いい取り組みだと思う。中津川市でも、日常的に車を運転している職員はバス運転手の供給源の一つになり得るので、そういった取り組みも考えながら、人材不足に対策してほしい。

○成瀬委員（公共交通事業者（交通））

- ・人材募集を行っているが、なかなか応募がない状況。市と協力して PR 動画も作ったので、引き続き募集を行いたい。また、お酒が飲めないという人に対しても、就職先の一つとして PR していきたい。

（２）交通事業者等支援事業交付金の実施について

- ・その他（２）について説明（事務局）

【質疑・意見等】

- ・特になし

■閉会